

令和 5 年度中高連携学力向上推進事業
「岩手県 Kenji Cup 高校生英語ディベート大会」実施要項

岩手県教育委員会事務局学校教育室

1 趣旨

学習指導要領における三つの資質・能力（「知識及び技能」、「思考力, 判断力, 表現力等」、「学びに向かう力, 人間性等」）の更なる育成を目指し、外国語における複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して、生徒の英語発信力の向上に資する。

2 主催

岩手県教育委員会

3 共催

岩手県高等学校教育研究会英語部会

4 期日

令和 5 年 10 月 29 日（日） 8:30～16:30（予定）

5 会場

岩手県立総合教育センター （管理棟：第 2～6 研修室・音楽研修室 情報棟：第 1・2 研修室）
〒025-0395 岩手県花巻市北湯口第 2 地割 82 番 1
電話（代表）：0198-27-2711 FAX：0198-27-3562

6 参加条件

- （1）岩手県内の高校生を対象とする。ただし、英語のネイティブスピーカーを除く。
- （2）次のア～ウの海外生活経験者等の条件に該当する者は 1 チーム 2 名までとし、各試合に出場できるのは 1 名までとする。（試合ごとの変更は可能）
 - ア 英語を第 1 言語とする国で 12 ヶ月以上滞在経験のある生徒（就学前の滞在は不問）
 - イ 英語を第 2 言語とする国の出身である生徒（就学前の滞在は不問）
 - ウ 家庭で常用的に英語を使用している生徒

※ 全国大会においては試合ごとの出場制限は設けず、条件該当者も各試合最大 2 名とも出場可能であること。
- （3）出場校の英語教員が引率者となること。ただし、外国語指導助手等は引率者を兼ねることはできない。

教員採用試験で教諭採用となった外国籍の講師は引率者となることができる。（岩手条件）
- （4）試合当日はエビデンスを 2 部準備（相手チームとジャッジ用）。相手チームやジャッジに要望された場合、エビデンスを見せること。

7 チーム構成

- （1）1 校から参加できるのは 2 チームまでとする。
- （2）1 チームの登録選手は 4 名から 6 名とする。各試合のチェアパーソン（司会）及びタイムキーパー（計時）は、原則として対戦校どちらかの生徒（登録選手である必要はない）が担当する。
- （3）各試合への出場選手は 4 名とし、試合ごとの選手の入れ替えは可能とする。

8 引率

- （1）引率教員（日本人英語教員）は 1 チームにつき 1 名とし、当日は試合のジャッジを担当することを原則とする。
- （2）参加校に所属する外国語指導助手等は、試合のジャッジを担当するものとする。

9 論題（全国大会における論題に準ずる）

Resolved: That the Japanese government should legalize gestational surrogacy.

日本政府は、代理出産を合法化すべきである。是か非か。

10 日程詳細

参加チーム数が確定した後、組合せとともに参加校に後日通知する。

11 競技規則

基本的には第 18 回全国高校生英語ディベート大会実施要項に記載の競技規則に準じるが、参加校数等を考慮し、変更もあり得ることから、詳細については参加校に後日通知する。

12 大会申込方法

（1）県立高等学校の場合

「全県フォルダ」の「03_県教委提出【保存期限 1 年】」>「C2_学校教育室_学力向上担当」>「【R051002 期限】Kenji Cup 参加申込」に参加申込書【様式 1】を 10 月 2 日（月）までに提出すること。

（2）盛岡市立高等学校、私立高等学校の場合

下記担当者宛てメールにて参加申込書【様式 1】を 10 月 2 日（月）までに提出すること。

13 メンバー変更

- （1）組合せ抽選会（ディベート運営委員会 10 月 12 日（木）14:00～16:00（予定））以降のメンバー変更は、当日の病欠等の特別な場合を除き禁止する。
- （2）無断でメンバー変更があった場合は、失格とする。複数チームが出場している学校のチーム間の移動があった場合も同様に失格とする。
- （3）当日の病欠等の特別な事情がある場合は、高等学校教育研究会英語部会のディベート担当（主任 1 名、副主任 2 名）と主催者（岩手県教育委員会担当者）で協議し、メンバー変更の可否を判断するものとする。

14 上位大会への出場権

- （1）参加校数が 2 校以上 11 校未満の場合は優勝校、参加校数が 11 校以上の場合は優勝校と準優勝校が県代表として令和 5 年 12 月 16 日（土）～17 日（日）に栃木県の作新学院大学で開催される「第 18 回全国高校生英語ディベート大会」への出場権が与えられる。全国大会への選抜基準は一般社団法人全国高校英語ディベート連盟の規定による。
- （2）全国大会への参加経費については、参加校負担とする。
- （3）全国大会への出場権を得たチームが参加辞退を申し出た場合、次点のチームが出場権を得るものとする。

15 その他

本大会は、本県出身の詩人宮沢賢治が花巻農学校（現 花巻農業高等学校）での教師時代、既にディベートを授業に取り入れていたことにちなんで、「Kenji Cup」と命名して開催するものである。

16 令和 5 年度中高連携学力向上推進事業「英語発信力育成のための英語ディベート活用研修会」 競技ディベート研修の参加について

- （1）期日 令和 5 年 8 月 21 日（月） 13:00～16:30（第 2 部：競技ディベート研修）
- （2）会場 岩手県立生涯学習推進センター 第 1・2 研修室

(3) 参加について

令和5年度「岩手県 Kenji Cup 高校生英語ディベート大会」に参加する予定の高校英語担当教

員、外国語指導助手等及び大会運営委員の参加は悉皆とする。

なお、申込み等については、「英語発信力育成のための英語ディベート活用研修会」実施要項等を参照のこと。

担 当

学力向上担当

指導主事 石村 隆彦

TEL: 019-629-6162 FAX: 019-629-6144

Email: takahiko-ishimura@pref.iwate.jp